

# 平成27年9月関東・東北豪雨を受けた『多摩川共同点検』を実施しました。

「避難を促す緊急行動」の取り組みの一つとして、地域住民・行政機関と共同で、川崎市における洪水に対するリスクの高い区間で、特に注意すべき箇所(重要水防箇所等)を点検しました。  
参加者からは、『非常に参考になった。』『住民も危機意識を高めなくては。』などの声がありました。

## 大師河原水防センターにおいて概要説明



## 鬼怒川での被災状況等の説明



## 現地においてリスクの高い区間を説明



## 実施日

平成27年10月9日(金)



## 参加人数

地域住民 7名(消防団含む)  
行政機関 15名  
(気象庁・神奈川県・川崎市)  
京浜河川事務所 10名  
報道機関 4社  
河川協力団体NPO多摩川干潟ネットワーク 1名